



1月も半ばを過ぎ、やっと冬らしい寒さになってきました。3年生は入試が間近にせまり、不安や緊張を感じているかもしれません。そんな時は、好きな音楽を聴いたり、好きな本を読んで、気持ちを落ち着けてみてはいかがでしょうか？図書室では、今年もたくさんの本を用意して、皆さんをお待ちしています。

世界最古の女性文学『源氏物語』



平安貴族の華やかな世界と、そこで生きる人々の恋愛模様を描いた『源氏物語』。

1月からの大河ドラマ「光る君へ」の主人公が作者の紫式部ということにちなんで、
今月は、紫式部や『源氏物語』に関連した本を紹介します。

✂『ビギナズクラシックス 源氏物語』 角川書店：編 KADOKAWA

『源氏物語』は文体が古いことと長編作品ということで、知名度に比べて、読んでいる人はあまりいません。この本は現代語訳と原文に解説がつき、さらに当時の時代背景も書かれた初心者向けの1冊です。全文は掲載されていないので、この本であらすじを知ってから、全文読破に挑戦してみるのもおすすめです。

✂『大掘源氏物語 まろ、ん？』 小泉吉宏：著 幻冬舎

光源氏が栗の顔のゆるキャラになり、四コマ漫画の形で進んでいきます。途中には、登場人物たちの系図や時代解説もあるのでわかりやすく、気軽に読める1冊です。他の登場人物もかわいいキャラクターとして描かれているので、古典作品は苦手だと感じている人にもおすすめです。

✂『紫式部の娘。賢子がまいる！』 篠綾子：著 小倉マユコ：絵 静山社

14歳となった賢子は、母の紫式部も仕える皇太后章子の御所に出仕します。母とは正反対の勝気で怖いもの知らずの賢子は、先輩からの嫌がらせにも動じません。素敵な貴公子との出会いに期待をしつつ、宮中で起こる事件の真相を恋のライバル小式部とともに探ります。続編も出ていて、多古中にあるので、こちらも読んでみてください。



6. 安全な水とトイレを世界中に

—すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する—

安全な飲み水の提供、下水・衛生施設の完備、汚染・有害物質を減らし、未処理の家庭・産業排水を半減させる。水の利用効率を上げ、淡水の採取と供給によって水不足を減らす。国境を超えた水資源の管理、水に関する生態系の保護、開発途上国への協力と支援をする。

『トイレをつくる 未来をつくる』 会田法行：写真・文 ポプラ社

作者が訪れた東ティモールにある小さな村にはトイレがなく、屋外で排泄することが当たり前でした。しかし不衛生な環境が子供達の未来を奪っていることを学び、村人達は意識を変えていきます。作者も東日本大震災の取材で、トイレの大切さを学んだそうです。皆さんの気づきにもつながる絵本です。

この本、読んでみませんか？ (新図書委員長 美空さんのおすすめ)

『日向ヶ丘中学校カウンセラー室』 まはら三桃：著 アリス館



この本は、日向ヶ丘中学校のカウンセラー綾さんと、さまざまな悩みを抱えた生徒達の話です。カウンセラー室に来るのは、双子の生徒や株をやっている生徒などさまざまです。しかも、カウンセラー室には「ゴーストのゴウスケさん」がいるという噂もあります。皆さんも、話の中に登場する生徒達の友達になったつもりで、一緒に相談にのってみませんか？